

## 町長室から

各団体の新年交礼会も終わり、暦（こよみ）の上では今年立春2月4日を過ぎていますが、1月末には早くも各地で梅の開花宣言がなされ、立春の前日である節分には九州で20度を超える気温で初夏を迎えたようだとこの報道があつた反面、穏やかな天候が続いていた十勝には今日から史上最強の寒波が押し寄せるので危険な寒さに用心してくださいとの報道もありました。

この季節は日本列島の季節感の違いを強く感じさせる時期でもあります。

国会は厚生労働省の統計調査の不適切問題で揺れており、統計の見直して昨年の実質賃金の伸び率がマイナスに転じる可能性を指摘されて消費税改定の見直しを求める声が野党から上がっているようです。

日本経済を分析する「消費者物価指数」に係わる統計にも不適切があつたことが発覚するなど、数字自体への信憑性を揺るがすだけでなく世界の信頼を失い、国の根幹を揺るがす事態と

も言えるだけに早期の適正化を図ってもらいたいものです。

トランプ流の外交政策は相変わらず世界を俯瞰（くわん）して進めるということにならないようです。

今月末にベトナムで行われる北朝鮮との会談後は米中首脳会談も行われ、中国との経済的対立構造を残したまま朝鮮戦争終戦協定も締結されるのではなにかとの観測が広がっています。日本と韓国の間が現在微妙なだけに日本への影響はどうなるのかが心配ではありません。

浦幌中学校第2学年の総合的な学習の時間に「浦幌町の現状と課題について」の話をさせていただきました。

昨年3年生が「浦幌町の人口増加を目指して」のテーマで、さまざまな角度から調査などを行い、浦幌町への5つの活性化案を示してくれました。

子ども達からの視点は大人では思いつかないこともあり、大変参考になりますし、案の実現に向けて「子どもの想い実現プロジェクト」で検討されています。

今年も2年生が同じテーマで更なる活性化案を提示する為に学習を深めているところです。世界では人口が増加している中で先進7ヶ国では唯一人口減少社会である日本を取り巻く現実や浦幌町が取り組んでいる対策など限られた時間の中で話させていただきました。

今年も素晴らしい活性化案を提示してくれることを期待しています。

子ども達からの提案を実現した冬のイベントである「しゃっこいフェス」が高校生の「浦幌部」や北大生も協賛して晴天の中で大勢の子ども達が集まり、親子連れで楽しむ姿が見られました。今年が開町120年を記念して「うらほろ冬花火」を前夜祭として行いました。

町内外から3千名以上の人たちがお集まりいただき、清んだ冬の空に6千発の花火が打ち上げられました。想像していた以上に大掛かりな花火に野球場内で観戦した人々たちから真上で大輪の花が開くたびに感動の大

歓声が上がりました。

共催していただいた十勝毎日新聞社の日本一といわれる花火大会の手法が活かされたものであり、改めて十勝毎日新聞社や多くの皆様にご後援をいただいたことに感謝とお礼を申し上げます。

浦幌町の平成31年度予算は地方統一選挙を控えていることから骨格予算となり、義務的経費、例えば人件費や返済金である公債費などを3月の第1回定例議会に提案することになりました。継続事業や緊急に必要とする事業なども予算（案）に計上しています。

3月議会では予算（案）審議とナイター議会での一般質問がありますので、多くの皆さんに傍聴していただき、町づくりにご理解をいただく機会になればと思います。

最近インフルエンザが流行していますので、皆様には感染しないように備えを十分にしてください。よろしくお願いいたします。

浦幌町長 水澤一廣